

# 第3章

## 工業用水道事業



渋川工業用水道事務所 金沢川水管橋



## 1 事業概要

工業用水道事業は、昭和38年に地方公営企業法が適用され、低廉豊富な工業用水を安定的に供給することにより、県内工業の振興発展に寄与することを目的としている。

企業局では、利根川の表流水を水源とする渋川及び東毛の2箇所の工業用水道を運営しており、地域開発のための基盤整備事業として、環境及び国土の保全を図る地盤沈下対策事業として重要な役割を果たしている。

また、附帯事業として、渋川工業用水道では渋川市へ上水の原水供給を行っている。

## 2 令和4年度事業(実績)

### (1) 給水実績

	渋川工業用水道	東毛工業用水道	合計
給水事業所数	8社8事業所	88社99事業所	96社107事業所
年間契約水量 (m <sup>3</sup> )	41,471,300	30,563,068	72,034,368
年間総給水量 (m <sup>3</sup> )	31,556,503	13,313,863	44,870,366
年間給水料金 (千円) (税込)	616,845	1,153,913	1,770,758

### (2) 主な建設改良事業

#### ① 渋川工業用水道

- ・金沢川水管橋伸縮可とう管補強工事 29,084千円
- ・テレメータ(子局)盤取替外工事 25,190千円

#### ② 東毛工業用水道

- ・苛性ソーダ注入ポンプ増設工事 12,100千円
- ・配水管路空気弁取替外工事 9,405千円

## 3 令和5年度事業(予定)

### (1) 業務の予定量

	渋川工業用水道	東毛工業用水道	合計
給水事業所数	8社8事業所	87社98事業所	95社106事業所
年間契約水量 (m <sup>3</sup> )	41,471,300	31,061,387	72,532,687
年間総給水量 (m <sup>3</sup> )	32,288,420	13,281,459	45,569,879
年間給水料金 (千円) (税込)	618,455	1,141,064	1,759,519

### (2) 主な建設改良事業

#### ① 渋川工業用水道

- ・配水管路強靱化基本設計委託
- ・滝の沢水管橋1号伸縮可とう管補強工事

#### ② 東毛工業用水道

- ・配水管路整備(近藤団地)工事
- ・配水管路端部補強工事

#### 4 施設の概要（令和5年4月1日現在）

	渋川工業用水道 (渋川市白井957)	東毛工業用水道 (太田市高林南町1-7)
事業費	当初 859 百万円 拡張 3,575 百万円 改築 3,897 百万円	当初 16,320 百万円 拡張 16,171 百万円
建設期間	当初 昭和38年度 ~ 昭和44年度 拡張 平成10年度 ~ 平成20年度 平成30年度 ~ 令和2年度 改築 平成元年度 ~ 平成21年度	当初 昭和50年度 ~ 令和2年度 拡張 昭和62年度 ~ 令和2年度
給水能力	120,000 m <sup>3</sup> /日	128,500 m <sup>3</sup> /日
水源	利根川表流水	利根川表流水 草木ダム(通年) 奈良俣ダム(冬期) 八ッ場ダム(冬期) 利根川表流水(夏期)
給水開始年月日	昭和40年8月10日(一部) 昭和44年4月1日(全部)	昭和53年10月18日(一部) 昭和55年4月1日(全部)
給水区域	前橋市、高崎市、渋川市、吉岡町	伊勢崎市、太田市、館林市、板倉町、 明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
給水事業所数	8社8事業所	88社99事業所

## 5 経営の状況

### (1) 給水量と料金収入の推移

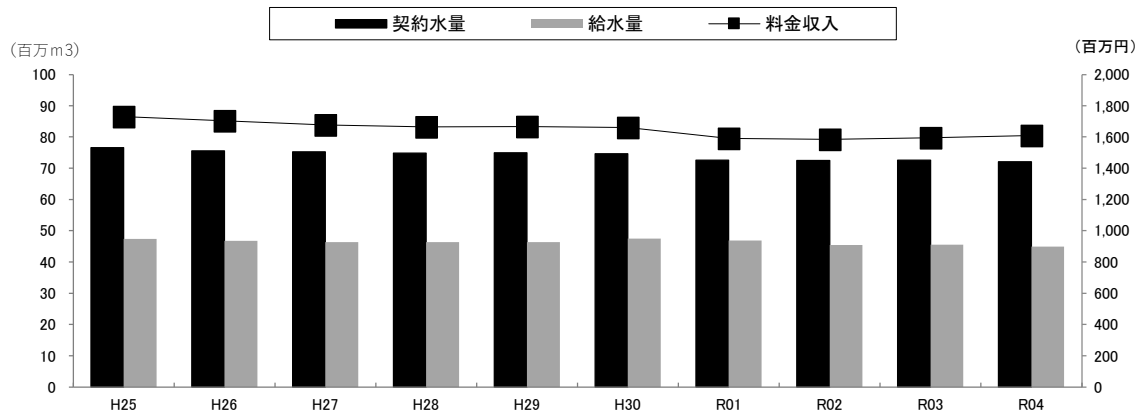
(税抜)

区 分		年 度				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予定)
渋川工業用水	契約水量(千m <sup>3</sup> )	41,585	41,471	41,471	41,471	41,471
	給水量(千m <sup>3</sup> )	32,093	31,796	32,198	31,557	—
	給水率(%)	77.2	76.7	77.6	76.1	—
	料金収入(千円)	533,234	529,452	529,854	560,769	562,232
	対前年比(%)	100.3	99.3	100.1	105.8	—
東毛工業用水	契約水量(千m <sup>3</sup> )	30,970	30,988	31,143	30,563	31,061
	給水量(千m <sup>3</sup> )	14,712	13,635	13,382	13,314	—
	給水率(%)	47.5	44.0	43.0	43.6	—
	料金収入(千円)	1,057,871	1,055,027	1,064,147	1,049,012	1,037,331
	対前年比(%)	93.8	99.7	100.9	98.6	—
合 計	契約水量(千m <sup>3</sup> )	72,555	72,459	72,615	72,034	72,532
	給水量(千m <sup>3</sup> )	46,805	45,431	45,580	44,870	—
	給水率(%)	64.5	62.7	62.8	62.3	—
計	料金収入(千円)	1,591,105	1,584,479	1,594,001	1,609,781	1,599,563
	対前年比(%)	95.9	99.6	100.6	101.0	—

注1：給水率＝給水量／契約水量×100

注2：令和元年度における各実績値は、令和2年がうるう年のため、366日分として計上。

契約水量と料金収入の推移



(2) 契約料金

① 渋川工業用水道 (円/㎡・税抜)

年 度	S40～49	50	51～55	56～H6	7	8～11	12～18	19(注2)～R3	R4～
基本料金	4	6(注1)	7	9	11	12	13	12	12
使用料金	—							1	2

注1 : S50. 4. 1～S50. 12. 31 : 6円、S51. 1. 1～ : 7円

2 : H19. 4. 1～二部料金制導入

② 東毛工業用水道 (円/㎡・税抜)

年 度	S53～55	56～58	59～61	62～H元	2～4	5～7	8～10	11	12	13～18	19～(注)
基本料金	13	16	19	22	26	29	32	33	34	35	33
使用料金	—										2

注 : H19. 4. 1～二部料金制導入

## 6 予算

収益的収支及び資本的収支の状況

(単位 千円)

区 分		令和5年度当初予算	前年度当初予算
収益的 収入・ 支出	工業用水道事業収益	2,067,572	2,069,215
	営業収益	1,759,519	1,759,618
	営業外収益	308,053	309,597
	工業用水道事業費用	2,157,030	2,028,436
	営業費用	1,965,359	1,815,930
	営業外費用	171,671	192,506
	予備費	20,000	20,000
	差 引	△ 89,458	40,779
資本的 収入・ 支出	工業用水道事業資本的収入	640,288	445,500
	他会計からの長期借入金	635,000	411,000
	工事費負担金	—	34,500
	雑収入	5,288	—
	工業用水道事業資本的支出	1,359,811	1,100,807
	建設改良費	650,136	460,648
	企業債償還金	506,576	564,559
	他会計からの長期借入金償還金	151,509	25,600
	国庫補助金返還金	1,590	—
	予備費	50,000	50,000
	差 引	△ 719,523	△ 655,307





# 東毛工業用水道事業概要図

